



RIHGA ROYAL HOTELS

2026年3月期 決算説明会

2026年5月29日

株式会社ロイヤルホテル

証券コード | 9713

agenda

株式会社ロイヤルホテル

2026年3月期 決算説明会



1. 2026年3月期 決算概要
2. 2027年3月期 業績予想
3. 成長戦略
4. Appendix



1. 2026年3月期 決算概要

2026年3月期 決算説明会

株式会社ロイヤルホテル

2026年3月期 連結実績

|| 芝パークホテルのフル寄与と宿泊主体ホテルの好調により、前年比で大幅増収増益を達成。当期利益は負ののれんの特別利益の消滅で減益。

|| 予想比でも、利益率の高い宿泊主体型ホテルの好調、新規ホテル開業関連費用の抑制で超過達成

単位：百万円

	2025/3期	2026/3期		2025/8/4 業績予想比		前年同期比	
		2025/8/4 業績予想	実績	増減額	増減率(%)	増減額	増減率(%)
売上高	25,164	29,200	29,273	+73	+0.3	+4,109	+16.3
営業利益	912	900	1,162	+262	+29.1	+249	+27.3
経常利益	796	900	1,189	+289	+32.2	+393	+49.5
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,737	600	1,169	+569	+94.9	△567	△32.7

※(株)芝パークホテルについては2024年10月から連結計上



2026年3月期 連結損益計算書

|| 芝パークホテル（株）（以下SPH）のフル寄与と完全子会社化に加え、宿泊主体型ホテルの好調が寄与

|| 収益力の高い宿泊主体型ホテルの好調で売上総利益が拡大し、新規ホテル開業関連費用を吸収し、営業利益、経常利益ともに大幅増益を達成

単位：百万円

	2025/3期末	2026/3期末	増減額	増減率 (%)
売上高	25,164	29,273	+4,109	+16.3
売上原価	4,088	4,320	+231	+5.7
売上総利益	21,076	24,953	+3,877	+18.4
販管費	20,163	23,791	+3,627	+18.0
営業利益	912	1,162	+249	+27.3
営業外収益	70	92	+22	+31.7
営業外費用	186	64	△122	△65.4
経常利益	796	1,189	+393	+49.5
特別利益	1,481	—	—	—
特別損失	220	93	△127	△57.8
税金等調整前当期純利益	2,057	1,096	△960	△46.7
法人税等合計	221	△87	△308	△139.4
非支配株主に帰属する当期純利益	99	14	△84	△85.5
親会社株主に帰属する当期純損益	1,737	1,169	△567	△32.7

※(株)芝パークホテルについては2024年10月から連結計上



2026年3月期 部門別売上高

|| 客室部門は、SPH社のフル寄与と宿泊主体型ホテルの好調で3割近い増収を記録

|| 食堂部門は、上半期の日本国際博覧会での迎賓館の受託業務もあり、二桁増収を達成

単位：百万円

	2025/3期	2026/3期	増減額	増減率 (%)
売上高	25,164	29,273	+4,109	+16.3
客室	10,294	13,156	+2,861	+27.8
宴会	5,468	5,534	+66	+1.2
食堂	3,518	4,010	+491	+14.0
その他	5,882	6,571	+689	+11.7

※(株)芝パークホテルについては2024年10月から連結計上

2026年3月期 連結貸借対照表

|| 現金・預金の増加やパークホテル東京の設備投資により有形固定資産が増加。その一方で、芝パークホテルの完全子会社化や親会社株主に帰属する当期純利益の計上により自己資本比率は60%を超過

単位：百万円

	2025/3期末	2026/3期末	増減額		2025/3期末	2026/3期末	増減額
流動資産	15,339	16,191	+852	流動負債	4,428	5,146	+717
現金及び預金	11,359	12,010	+650	買掛金	515	518	+3
売掛金	2,047	2,303	+255	契約負債	740	652	△87
原材料及び貯蔵品	370	379	+8	賞与引当金	326	857	+530
その他	1,561	1,498	△62	その他	2,846	3,117	+270
固定資産	23,022	23,149	+126	固定負債	10,897	10,342	△554
有形固定資産	8,248	8,525	+276	負債合計	15,325	15,489	+163
無形固定資産	192	165	△27	株主資本	21,477	23,832	+2,355
投資その他の資産	14,581	14,458	△123	その他包括利益累計額	△2	18	+21
(匿名組合出資金)	1,288	1,142	△146	非支配株主持分	1,560	—	—
(差入保証金)	12,694	12,800	+105	純資産合計	23,035	23,851	+815
資産合計	38,361	39,340	+979	負債純資産合計	38,361	39,340	+979

※(株)芝パークホテルについては2024年10月から連結計上

2026年3月期 連結キャッシュフロー計算書

|| 業績回復に伴う税金等調整前当期純利益の増加や賞与引当金の増加に伴い営業キャッシュフローは拡大

|| 投資および財務キャッシュフローのマイナスが拡大したが、現金及び現金同等物は100億円超を維持

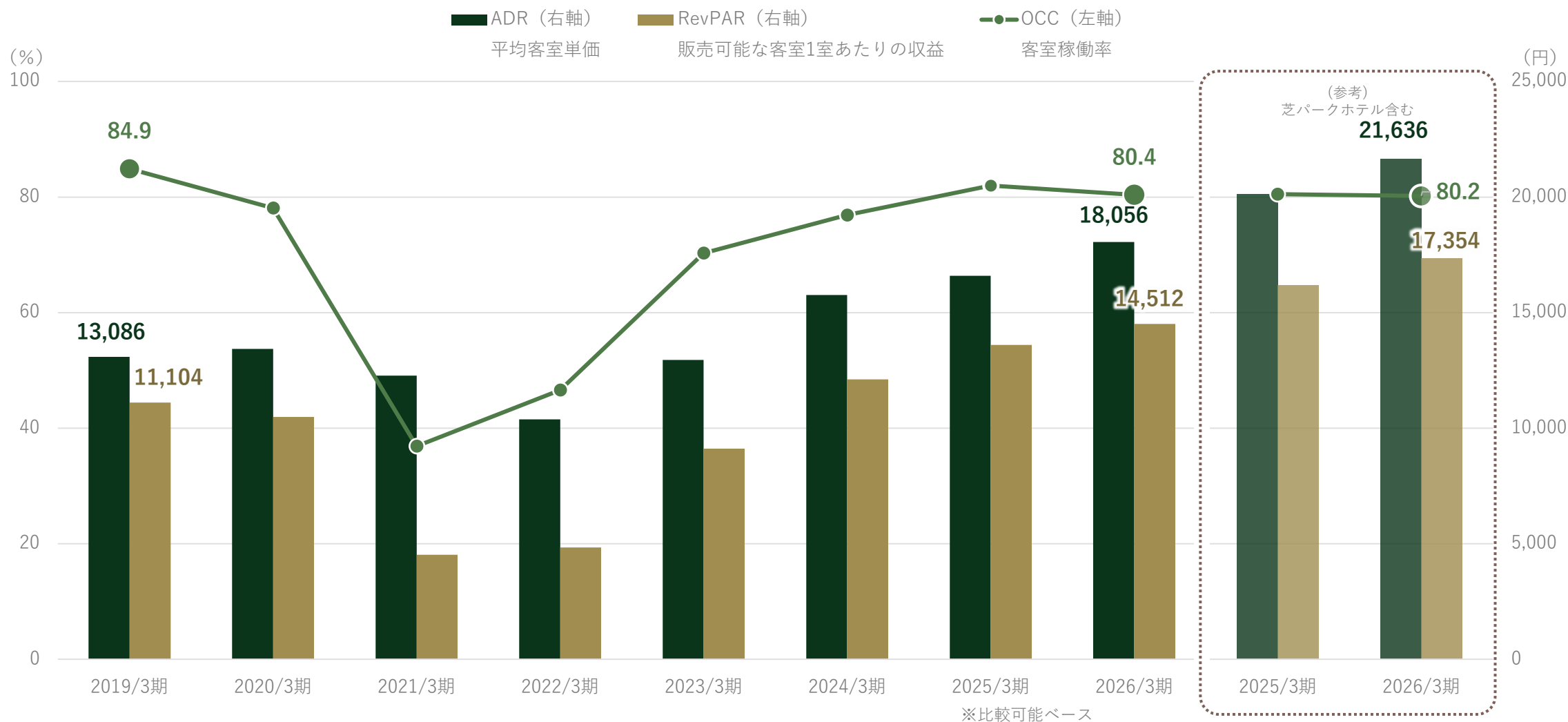
単位：百万円

	2025/3期末	2026/3期末	増減額	要因
現金及び現金同等物の期初残高	12,221	11,184	△1,037	
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,204	2,012	+ 808	収益力の改善
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,981	△2,230	△249	定期預金預入、新規ホテル投資
フリーキャッシュ・フロー	△777	△218	+559	
財務活動によるキャッシュ・フロー	△260	△588	△328	子会社の長期借入金の返済進捗
現金及び現金同等物の期末残高	11,184	10,377	△807	

※(株)芝パークホテルについては2024年10月から連結計上

客室稼働率・平均客室単価・RevPAR推移

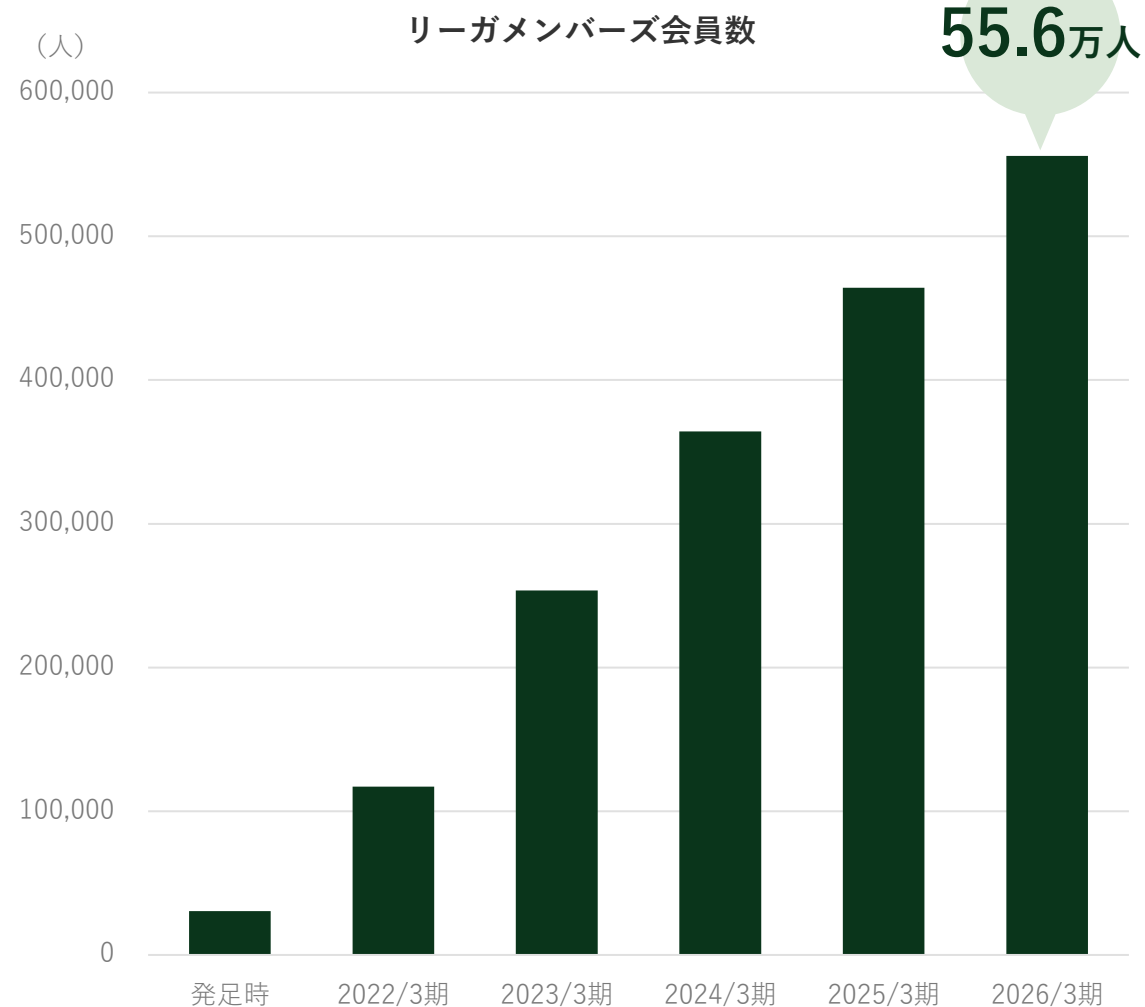
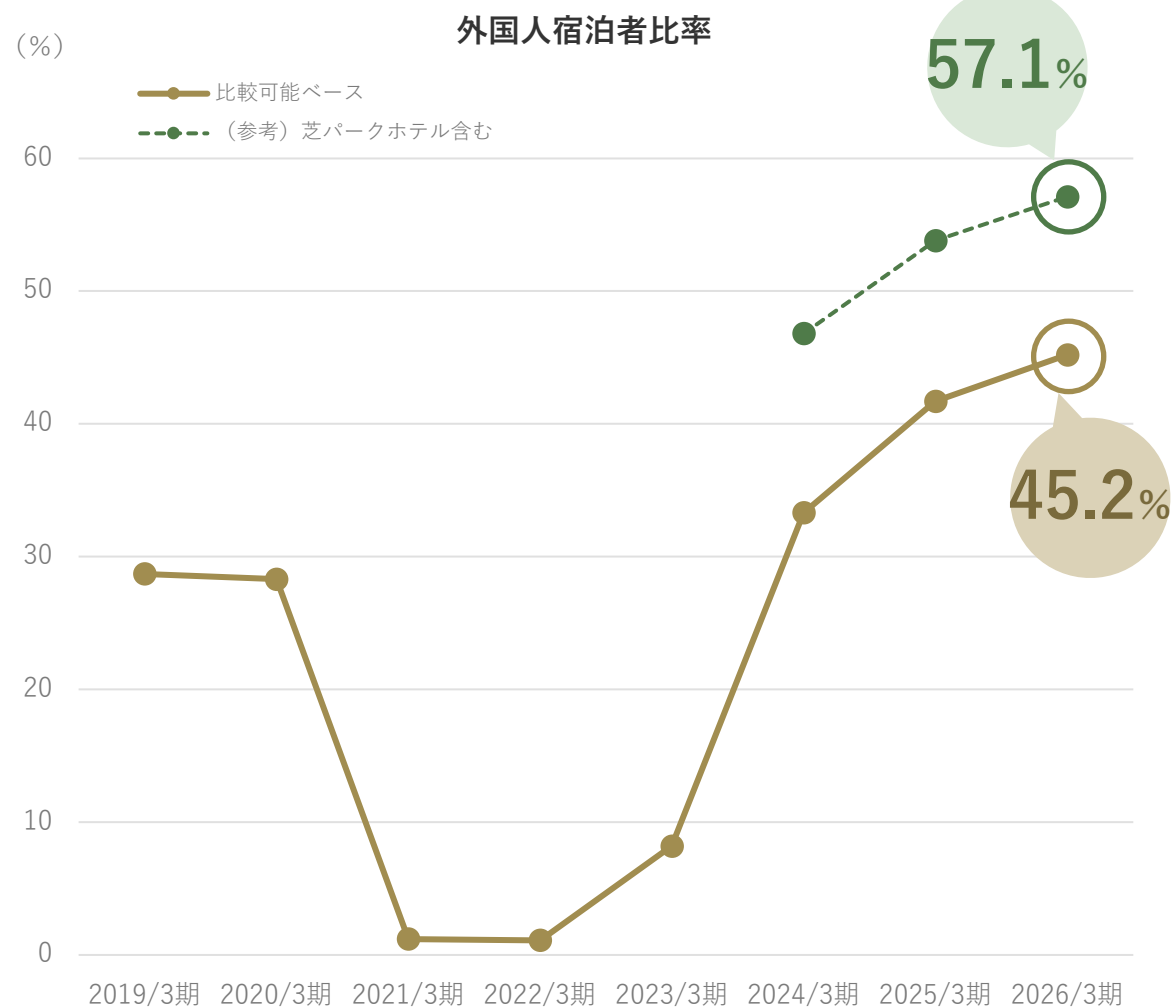
客室稼働率は高水準を維持しつつ、機動的なレベニューマネジメントによりADR、販売可能な客室1室あたりの収益を拡大



外国人宿泊者比率、リーガメンバーズ会員数推移

|| 欧米向けの海外セールスとマーケティングの強化もあり、海外顧客を拡大

|| リーガメンバーズは50万人を突破。2030年100万人に向けて、リーガメンバー向け優待やサービスの充実に注力





2. 2027年3月期 業績予想

2026年3月期 決算説明会

株式会社ロイヤルホテル



2027年3月期 連結業績予想

|| 4月の沖縄・北谷、大阪なんば、9月の福岡博多への新設ホテル3店舗の寄与もあり二桁近い増収を目指す

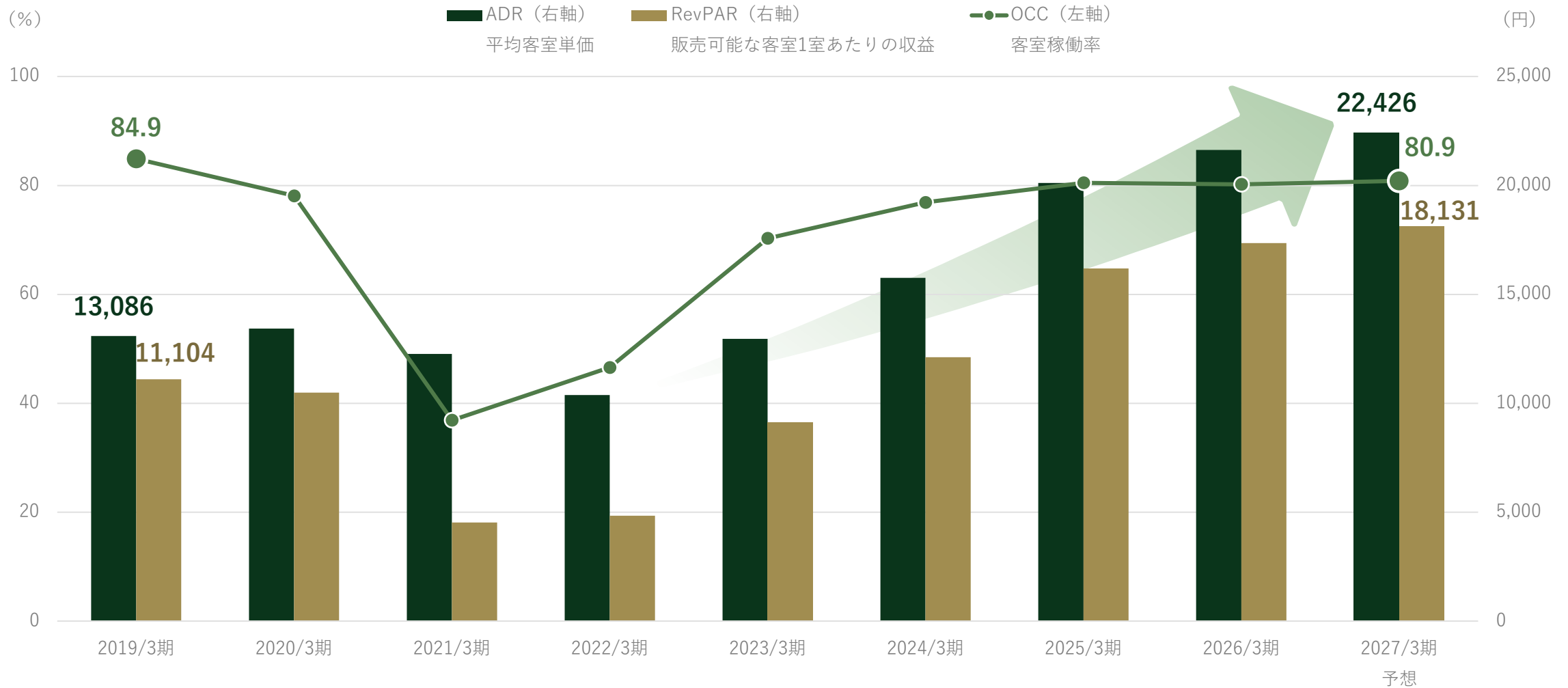
|| DX戦略によるホテル運営の効率化などにより、新規ホテルの開業費用等を吸収し、営業・経常利益を確保へ

単位：百万円

	2026/3期 実績	2027/3期 予想	前期比	
			増減額	増減率(%)
売上高	29,273	32,000	+2,727	+9.3
営業利益	1,162	1,200	+38	+3.3
経常利益	1,189	1,200	+11	+0.9
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,169	900	△269	△23.0

客室稼働率・平均客室単価・RevPAR推移（予想）

|| 欧米2エリアに加え、韓国・台湾等東アジアでの海外セールス・マーケティングを強化し、引き続きADRや販売可能な客室1室あたりの収益の拡大を見込む



※比較可能ベース（2025/3期以降芝パークホテルを含む、新規3ホテルは含めておりません）



3. 成長戦略

2026年3月期 決算説明会

株式会社ロイヤルホテル

- || 「RIHGA VISION 2035」を策定し、長期・持続的な企業価値拡大に向け各成長フェーズにおいて実現するゴールを設定
- || 現「ReRISE」期は、成長の土台となる基盤強靱化を優先課題として施策推進中

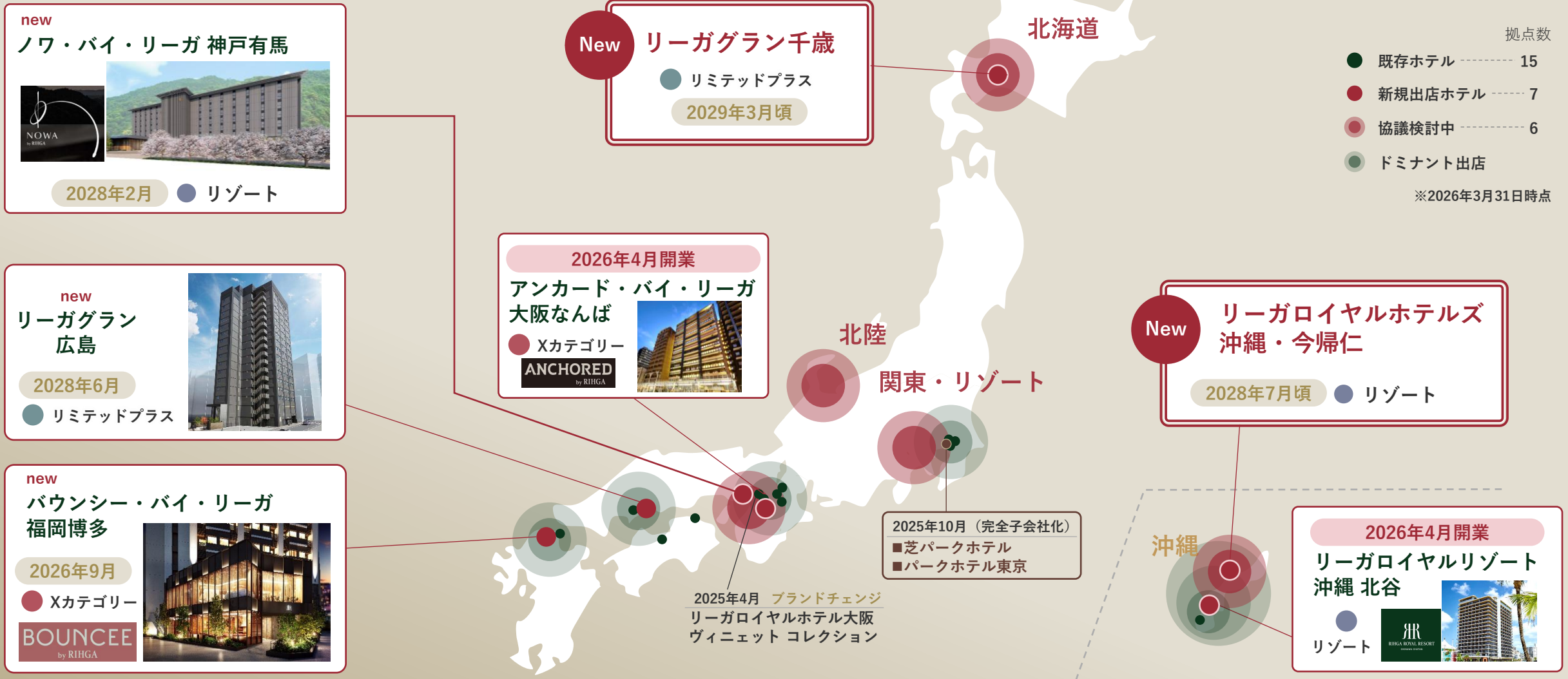
RIHGA VISION 2035



新規出店戦略の進捗状況

|| 2026年3月期は400件超の引き合いあり新規出店パイプラインは順調に拡大。現在6件の出店意向表明提出、具体的協議中

|| 2030年迄に10ホテル超の新規開業ペースは視野。2035年迄に20ホテル開業による成長を目指す



2026年4月開業
リーガロイヤルリゾート沖縄 北谷

「リーガロイヤルホテル」がもてなす、
海と空と煌めきの沖縄アーバンリゾート

華やかで優雅な時が流れる、
ここだからこそ味わえる贅沢な休日をお届けします。

総客室数：209室

収容人数：902名

設備：レストラン1店舗、フィットネスジム、
インフィニティプール、サウナ付スパ



2026年4月開業記念式典



2026年4月開業
アンカード・バイ・リーガ 大阪なんば

PLAYFUL OSAKA

思わず誰かに話したくなるような、記憶に残る
「プレイフル」な滞在をお届けします。

総客室数：200室
収容人数：579名
設備：レストラン1店舗、大浴場、
コインランドリー



2026年4月開業記念式典



2026年9月開業予定
バウンシー・バイ・リーガ 福岡博多

「HOTEL BAR」をテーマにリラックスした雰囲気でお酒や会話を楽しみ、随所にバーのムードを感じさせるデザインや演出で、特別な旅の時間を提供

総客室数：117室



|| 2026年度以降の業績寄与と新ブランドの展開加速に期待、成長戦略取組の成果を実現

2026年4月開業

リーガロイヤルリゾート沖縄 北谷

総客室数：209室 収容人数：902名

設備： レストラン1店舗、フィットネスジム、
インフィニティプール、サウナ付スパ



「リーガロイヤルホテル」がもてなす、
海と空と煌めきの沖縄アーバンリゾート

華やかで優雅な時が流れる、
ここだからこそ味わえる贅沢な休日をお届けします。

2026年4月開業

アンカード・バイ・リーガ 大阪なんば

総客室数：200室 収容人数：579名

設備： レストラン1店舗、大浴場、
コインランドリー



PLAYFUL OSAKA

思わず誰かに話したくなるような、記憶に残る
「プレイフル」な滞在をお届けします。

2026年9月開業予定

バウンシー・バイ・リーガ 福岡博多

総客室数：117室



「HOTEL BAR」をテーマにリラックスした雰囲気でお酒や会話を楽しみ、随所にバーのムードを感じさせるデザインや演出で、特別な旅の時間を提供

アセットライト※戦略の新規出店モデル

※アセットライト：所有と運営を分離したビジネスモデル

- || 新規開業予定ホテルは初期コストを抑制し、賃料条件は一部を変動賃料とすることで業績変動リスクを軽減
- || 運営効率を高めた宿泊特化型ホテルで省人化を図り、既存ホテル比高い利益率の確保を目指す

	初期投資金額 (保証金・システム費用等含む)	想定売上高	営業利益	必要社員数	総客室数
新規7ホテル合計	21億円強	90~100億円	6~7億円	約140人	1,148室
1ホテルあたり	3億円強	約14億円	約1億円	約20人	

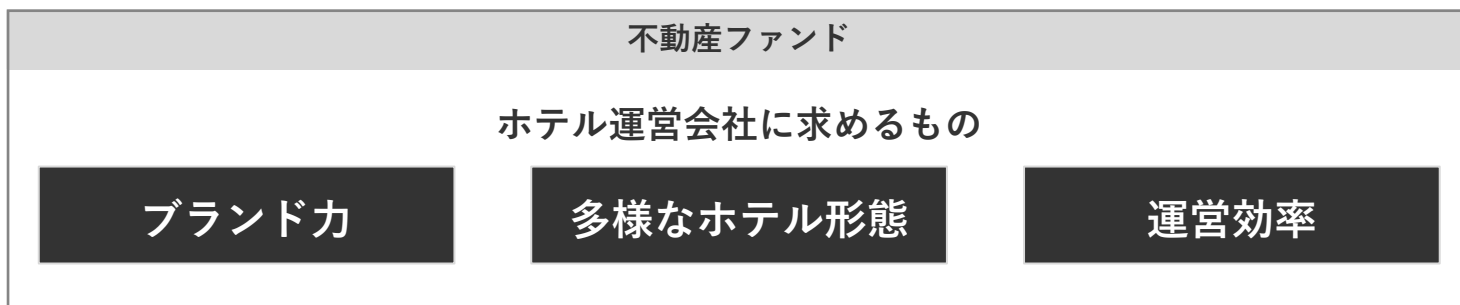
2026年以降 公表済新規出店ホテル (2026年5月時点)

ホテル名	リーガロイヤルリゾート 沖縄 北谷	アンカード・バイ・リーガ 大阪なんば	バウンシー・バイ・リーガ 福岡博多	ノワ・バイ・リーガ 神戸有馬	リーガグラン 広島	リーガロイヤル ホテルズ 沖縄・今帰仁	リーガグラン 千歳
外観						Coming soon	
タイプ	宿泊特化・リミテッド型 (リゾート)	宿泊特化・リミテッド型 (Xカテゴリー)	宿泊特化・リミテッド型 (Xカテゴリー)	宿泊特化・リミテッド型 (温泉リゾート)	宿泊特化・リミテッド型 (リミテッドプラス)	宿泊特化・リミテッド型 (リゾート)	宿泊特化・リミテッド型 (リミテッドプラス)
室数	209室	200室	117室	93室	168室	134室	227室

新規
協議検討中
6件

多店舗展開を加速させる外部環境

|| 不動産ファンド等のホテル投資が急速に拡大。ロイヤルホテルのオペレーション効率化とカテゴリーの多様化に追い風



ロイヤルホテルが選ばれる理由

ブランド力

あたたかなおもてなし
美味しい料理
心地よい空間
(RISEの精神)

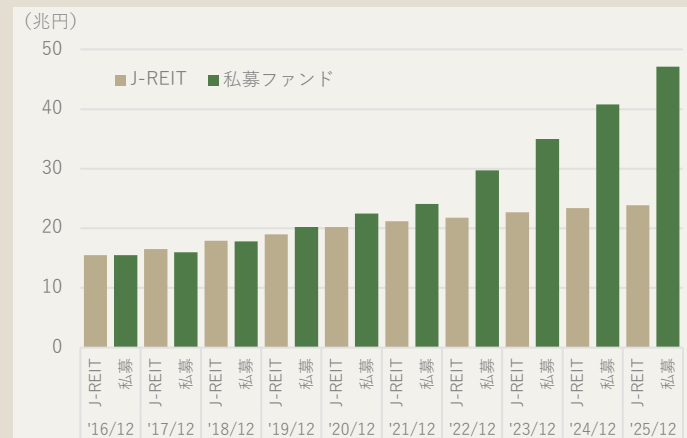
多様なホテルカテゴリー

- ・ グランドホテル
- ・ 宿泊特化型ホテル
- ・ リゾートホテル 等

オペレーション能力・収益力

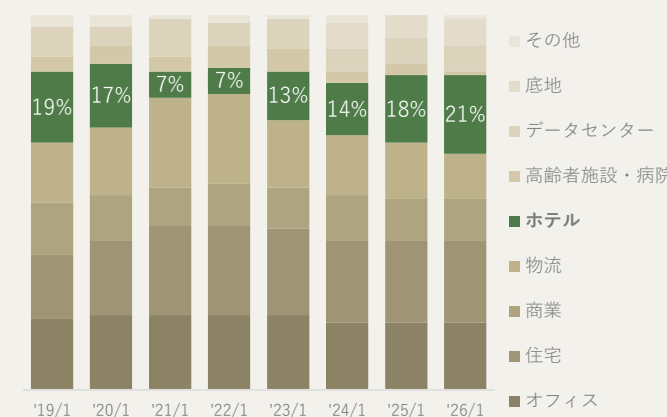
- ・ 豊富な人的資本
- ・ 潤沢な運営ノウハウ
- ・ DXの活用

私募ファンドとJ-REITの市場規模推移



出所：不動産証券化協会「私募リート・クォーターリ」、三井住友トラスト基礎研究所

今後注力していきたい物件タイプ（複数回答可）

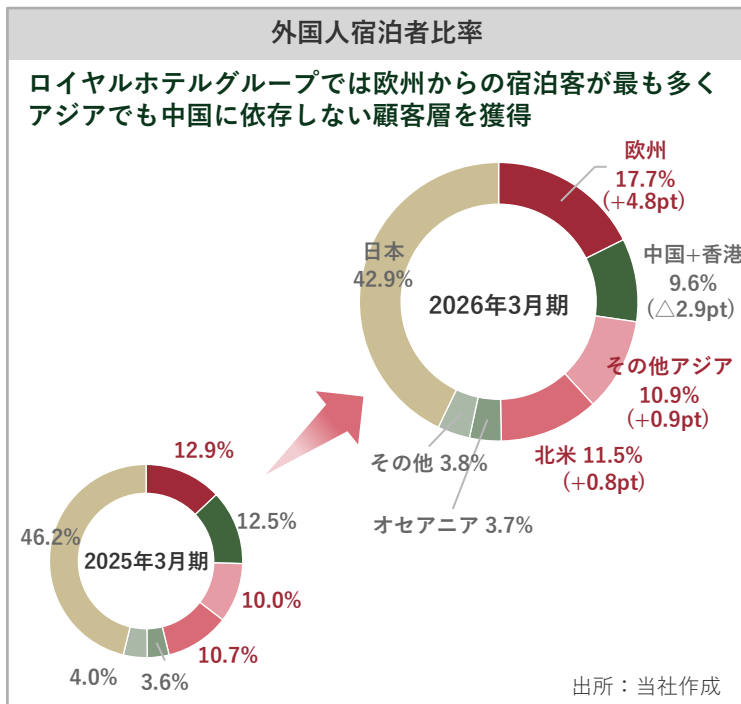


出所：三井住友トラスト基礎研究所

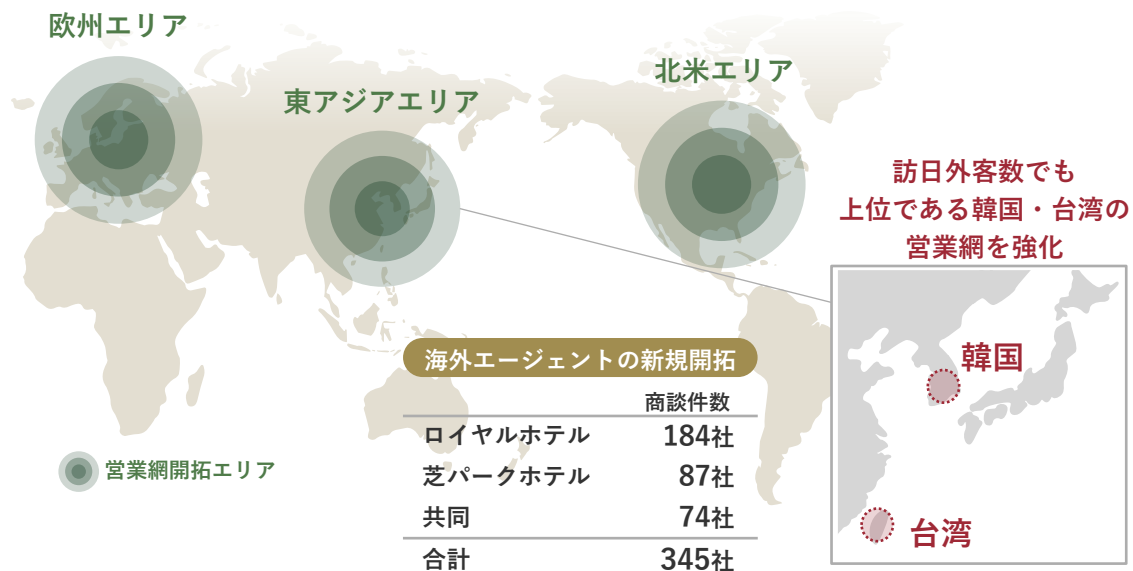
|| 東アジアはMICE（特に企業インセンティブ）誘致、欧米は富裕層個人の誘致を企図

REP*を通じた現地営業活動の強化

*REP（representative）ホテルの営業代行や予約代行などを専門的に行う企業



当期より導入したREPの活用において、先行する欧米に加え、新たに東アジア（韓国・台湾）へ拡大



	2025年 訪日外客数上位10位	当社 REP設置
1	韓国	2026年度
2	中国	
3	台湾	2026年度
4	米国	2025年度
5	欧州	2025年度
6	香港	
7	タイ	
8	豪州	2025年度
9	フィリピン	
10	シンガポール	

出所：JNTO

団体セールス（B to B）

- ・ 宴会場を持つ当社の強みを活かし、MICEのうちインセンティブ（企業旅行）の獲得に向けた営業体制を確立

個人マーケティング（B to C）

- ・ リーガメンバーズの英語版実装
再訪時のグループホテル周遊、料飲利用を促進
（新規ホテルでも利用可能であり、全国周遊ルートの提案が可能）

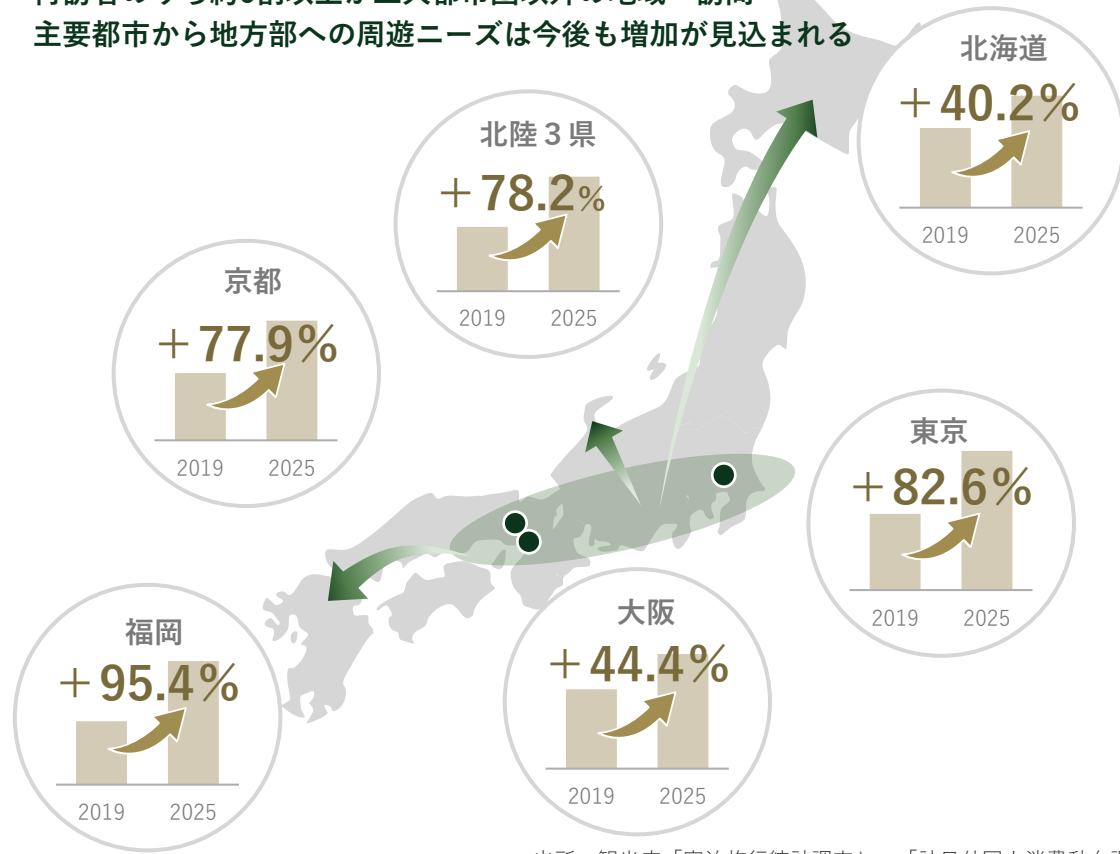
周遊インバウンド客の誘致促進

|| インバウンド需要が増加する中、地方部への周遊ニーズも拡大

|| ゴールデンルート（東京～京都・大阪）に加え、観光資源が豊富な地方都市にも順次新規出店を計画

訪日外国人宿泊者数推移

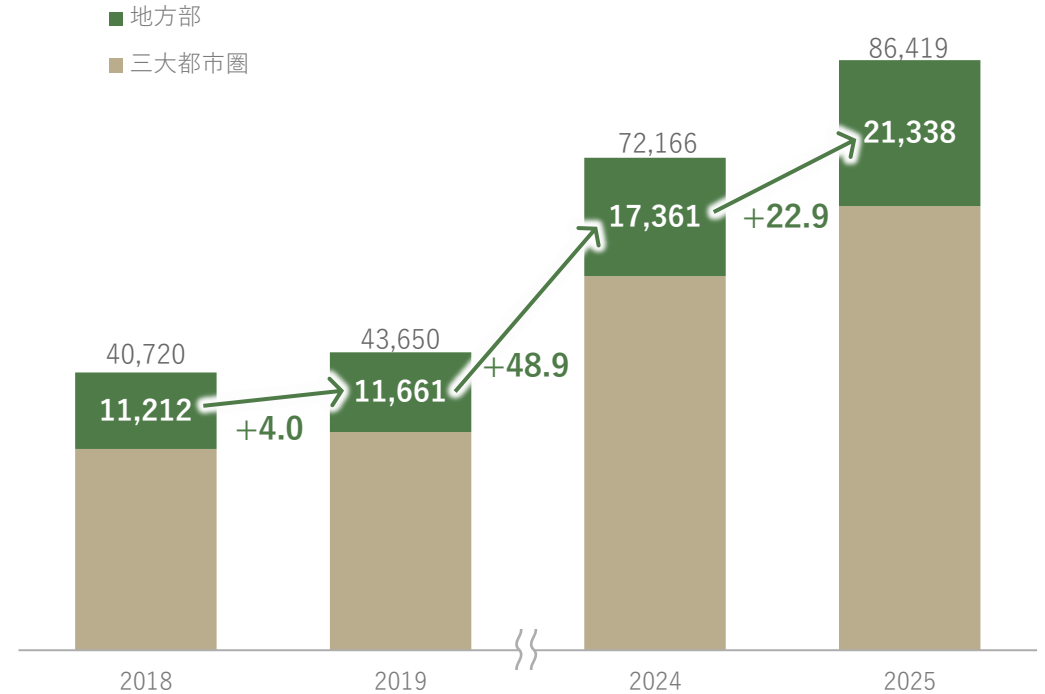
2025年は訪日外国人客のうち約6割が再訪
再訪者のうち約6割以上が三大都市圏以外の地域へ訪問
主要都市から地方部への周遊ニーズは今後も増加が見込まれる



出所：観光庁「宿泊旅行統計調査」、「訪日外国人消費動向調査」

訪日外国人旅行消費額推移

単位：億円



出所：観光庁「インバウンド消費動向調査」

注：「三大都市圏」には東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県・愛知県・大阪府・京都府・兵庫県、「地方部」には「三大都市圏」を除く道県が含まれる。

- || 新規ホテルの成長戦略と既存ホテルのバリューアップを両輪で加速するため、組織の抜本的改編を実施
- || DX戦略による省力化による人材配置の最適化・経営判断の迅速化を推進

新規ホテル

知の「探索」

新規ホテル・新規事業の開発

- ・ 開発及びその他新規事業開発を主導

経営企画本部

既存ホテル

知の「深化」

グランドホテルのバリューアップ

- ・ 改装推進及びホテルコンセプトの刷新
- ・ ホテル内組織体制の見直し等を主導

事業運営本部

DX戦略

PMS(基幹業務システム)の刷新

AIレベニューマネジメントの導入

自動チェックイン機導入

BIツールの導入

ブランド力の基盤となる人的資本投資の強化

|| 当社のブランド力は社員によるRISEの精神（あたたかいおもてなし、美味しい料理、心地よい空間）の実現によるものであり、そのために必要な人的資本投資の強化、人事制度の刷新を実施し、企業価値向上を図る

年齢に関係なく、
意欲のある社員を評価・登用する

歴史の継承を制度面から支える

若手
(一般職)

- ・ ジョブディスクリプションを明確にし、責任ある仕事に早期から挑戦できる体制へ
- ・ 専門職（調理職、施設職）は、固有のキャリア形成を支援

管理職

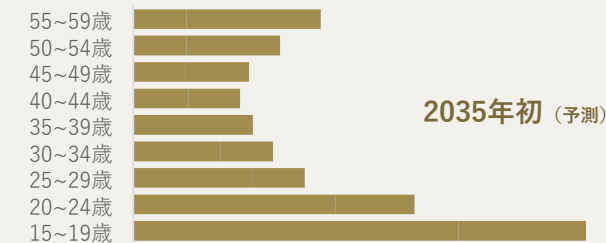
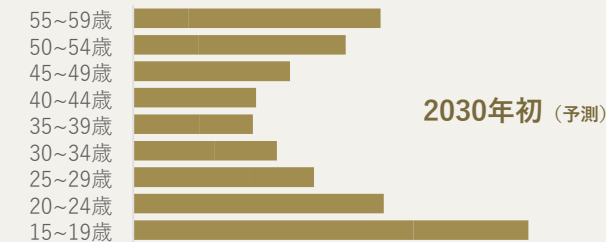
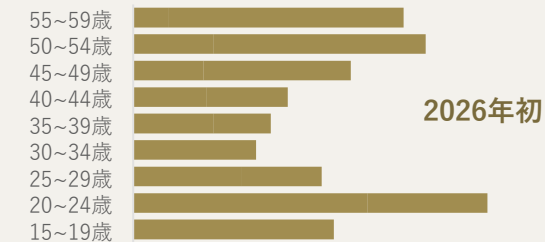
- ・ オペレーション主体の業務内容を見直し、若手への権限移譲を推進
- ・ 人材育成、職場環境整備、戦略に基づく企画・施策の実行をメインのミッションへ

プロフェッショナル
職

- ・ サービス、調理を中心としたホテル特有の現場スタッフから任用
様々なコンクール・コンペティションでの優秀な成績を収める人材多数
- ・ ホテルの現場でブランド価値を高める人材として、卓越した実績等をもとに、
後進育成を期待する役割として明示

GM（総支配人）へ若手人材の配置（40代以下が2倍の50%に増加）

将来の年齢構成を予測し、
10年後を見据えて変化に備える





配当／株主還元強化

- || 安定的ながらも利益還元の一環として増配を実施
- || リーガポイントの付与倍増により株主優待制度を充実

基本方針

利益還元を経営の重要課題と考え、安定的に配当を行う

配当金

2026年3月期増配

	2025年3月期	2026年3月期	2027年3月期 (予想)
1株当たり 配当金	5円	6円	6円

株主優待制度の拡充

リーガポイントはオンラインショップでも利用可能となり、実店舗のご利用が叶わない株主様にも当社商品をお楽しみいただけます。

優待内容 保有株式数	リーガポイント (ポイント)	
	保有期間3年未満	保有期間3年以上
500～999株	5,000 → 10,000	7,000 → 14,000
1,000株～	10,000 → 20,000	12,000 → 24,000



株主優待制度の充実によりファン株主の増加を期待

RIHGA VISION 2035に向けて成長加速

- || 中期経営計画「ReRISE」での取組みにより多店舗展開への基盤が強化を確立
- || 加えて、不動産ファンド等によるホテル投資ニーズの拡大を取り込む

RIHGA VISION 2035

安心のサービスと
感動のおもてなしで
世界中のお客様の期待を越える
日本最高峰のホテルグループ





4. Appendix

2026年3月期 決算説明会

株式会社ロイヤルホテル

2028年以降 開業予定ホテル

|| 温泉リゾートのラグジュアリータイプを地元関西に初出店、2029年度には北海道に初出店予定

2028年2月開業予定

ノワ・バイ・リーガ 神戸有馬

総客室数：93室



こころの静寂に、心尽くしのおもてなし

リーガロイヤルホテルブランドで培ってきた技術・サービスを最大限に活かし、オーベルジュのような体験を提供。

2028年6月開業予定

リーガグラン広島

総客室数：168室



平和大通りに面し、

ビジネスや観光利用に便利なエリアに立地します。旅の疲れを癒す大浴場や、地元産品や和をテーマとしたインテリアで上質な空間を演出します。

2028年7月開業予定

リーガロイヤルホテルズ 沖縄・今帰仁

総客室数：134室

Coming soon

世界文化遺産「今帰仁城跡」や人気の絶景スポット「古宇利島（こうりじま）」など豊かな自然を楽しめるエリア。美しいビーチに面する抜群のロケーションと中長期滞在にも対応する充実した客室設備で、歴史と自然に包まれた穏やかな時間を過ごすリゾートを目指します。

2029年3月開業予定

リーガグラン千歳

総客室数：227室

Coming soon

北海道の玄関口である新千歳空港から2駅のJR千歳駅前という立地を活かし、ビジネスやレジャーに幅広く対応する快適な空間とおもてなしを提供します。

パーパス

人を、地域を、日本を、世界を、
あたたかい心で満たしていこう。

RIHGA VISION 2035

安心のサービスと感動のおもてなしで世界中のお客さまの期待を超える
日本最高峰のホテルグループ

信頼と期待

時代を超えて「受け継ぐ価値」

あたたかいおもてなし

美味しい料理

心地よい空間

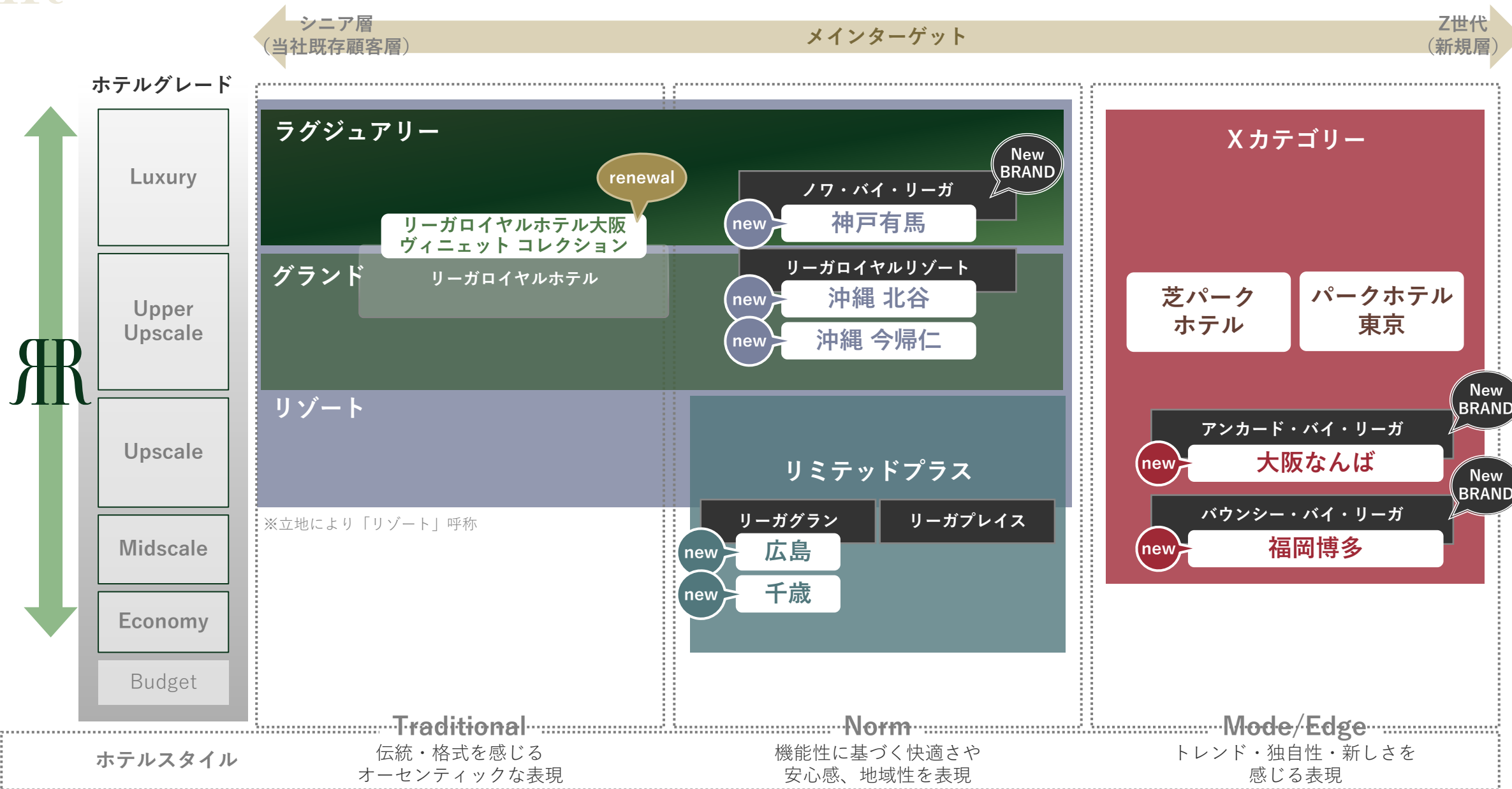
時代と共に「進化していく価値」

利便性の向上

多様性の尊重

安心安全の追求

ブランドカテゴリー



ラグジュアリー

国内外の富裕層ニーズに応える、パーソナライズされた最上級のホテル体験、ファシリティを提供する

グランド

地域の顔・社交の場に相応しいスケールで、プライベートからビジネスまで幅広いニーズに応えるフルサービス型ホテル

リミテッドプラス

ビジネス・観光に対応するシンプルな機能性に加え、当社の強みを活かした食のこだわりや地域性の表現などの付加価値を提供する

リゾート

ビーチ、スノー、温泉など目的性の高いリゾートを、幅広いスケールで展開。グループ利用やコンドミニアムにも対応する

Xカテゴリー

立地を活かしたコンセプト、様々な趣味嗜好に応えるテーマ性、体験を楽しむ独自性の高いホテル

ブランド名

リーガロイヤルホテル

旗艦となるホテルブランドを含む
チェーン全体のサービス基準の礎

ブランド名

リーガロイヤルグラン

リーガグラン

リーガプレイス

ブランド名

リーガロイヤルリゾート

ノワ・パイ・リーガ **new**

「ノワ」は、「～の和」「～の輪」という言葉から、人や自然とのつながり、調和からイメージした造語。ロイヤルホテルらしい「あたたかいおもてなし」をベースに、各地域とのつながりを感じられる空間、食で滞在を彩る上質で洗練された「和のリトリート」を提供するブランド。

ブランド名

アンカード・パイ・リーガ **new**

「錨をおろす」という意味の「アンカード」を由来とし、ホテルの立地＝ローカル（地元）のエッセンスを濃く感じながら、疲れを癒してアクティブな旅の朝を迎えるための機能を備えたホテルブランド。

バウンシー・パイ・リーガ **new**

音楽、食などのエンターテインメントにフォーカスし、心躍る新しい滞在スタイルを提案。「バウンシー」は弾むという意味の「バウンス」から、心弾むイメージを連想。コンセプトに沿った様々な仕掛けや利便性を重視したコンパクトな客室により、若いトラベラーに向けたブランドを目指す。

ブランド価値の向上

高収益モデルの確立

多様化するニーズに対応する機能拡大、
新コンセプト開発

事業方式		ホテル名	客室数
所有	ホテルの所有と運営を同一の会社が行う方式	芝パークホテル	198室
リース	運営会社がホテルの所有者から不動産を賃借して、ホテルを運営する方式	リーガロイヤルホテル東京 リーガロイヤルホテル広島 リーガロイヤルホテル小倉 リーガプレイス肥後橋 リーガグラン京都 リーガプレイス京都 四条烏丸 パークホテル東京 アンカード・バイ・リーガ大阪なんば (2026/4開業) リーガロイヤルリゾート沖縄 北谷 (2026/4開業) バウンシー・バイ・リーガ福岡博多 (2026/9開業予定) ノワ・バイ・リーガ 神戸有馬 (2028/2開業予定) リーガグラン広島 (2028/6開業予定) リーガロイヤルホテルズ沖縄・今帰仁 (2028/7開業予定) リーガグラン千歳 (2029/3開業予定)	131室 491室 295室 336室 261室 95室 268室 200室 209室 117室 93室 168室 134室 227室
MC	運営会社がホテルの所有者から委託を受けて、ホテルを運営する方式	リーガロイヤルホテル (大阪) リーガロイヤルホテル京都 都市センターホテル	1,039室 489室 327室
FC	加盟店ホテルに経営ノウハウやブランド使用权を提供して、ロイヤリティを受け取る方式	リーガロイヤルホテル新居浜 リーガロイヤルグラン沖縄 リーガゼスト高松 リーガロイヤル・ラグーナ・グアム・リゾート	94室 157室 119室 318室



マーケットの見通しと当社の展開

|| インバウンド需要を中心に国内マーケットの活況が見込まれ、各地で国際的なイベントの開催や注目施設の開業も予定

2025年4月
リーガロイヤルホテル大阪 ヴィニェット コレクション開業



2026年4月開業
リーガロイヤル
リゾート沖縄 北谷



2026年4月開業
アンカード・バイ・リーガ
大阪なんば



2026年9月開業予定
バウンシー・バイ・リーガ
福岡博多



2028年2月開業予定
ノワ・バイ・リーガ
神戸有馬



2028年6月開業予定
リーガグラン
広島

2028年10月頃
開業予定
沖縄・今帰仁
(名称未定)

2029年3月頃
開業予定
リーガグラン千歳

訪日外国人観光客※
2030年
6,000万人目標

(参考)

2025年	4,268万人
2022年	383万人
2019年 (コロナ前)	3,188万人

2025年10月
芝パークホテル
完全子会社化

2025年



大阪・関西万博開催

沖縄北部
テーマパーク
JUNGLIA(ジャングリア)開業

世界陸上開催(東京)

2026年

アジア大会開催
(愛知)



2027年

国際園芸博開催(横浜)



ワールドマスターズ
関西開催



2028年

2029年

北海道新幹線
全線開業

2030年

なにわ筋線開通
関西国際空港拡張

2030年以降



KAMISEYA
テーマパーク開業(横浜)

※出所：「明日の日本を支える観光ビジョン」首相官邸2016年3月

|| 2026年度、更なる推進強化を企図し経営直下に「サステナビリティ推進室」を新設、直接経営に反映できる体制を整備

事業活動を通じた 環境保全への取組

- 脱プラスチック
(リサイクル、リデュース)
- 節水・省電力機器への転換
- エコ清掃の呼びかけ
- 食材ロスの削減



DE&I※を軸とした 働きやすい・ 働きがいのある 環境づくり

- 女性活躍の推進
- 育児・介護休業取得の推進
- 健康戦略MAPに基づく施策の推進
- 学習機会支援
- 多様性の推進



※DE&I (ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン) : 「ダイバーシティ&インクルージョン」 + 「公平/公正性 (Equity)」

地域社会と積極的に関わり、 地域の魅力を発信

- 地域催事への協力
- 周辺清掃活動
- 地元製品の提供
- 中高生への学習提供
- 周辺施設との提携



「安心・安全」を守る 組織づくりの推進

- 取締役の多様性担保
- コンプライアンス研修の実施
- 自然災害への備え
- バリアフリーの推進
- 人権ポリシーの策定
- 食の安全への取り組み





RIHGA ROYAL HOTELS

社名	株式会社ロイヤルホテル
本社所在地	大阪府大阪市北区中之島5丁目3番68号
創立年月	1932年（昭和7年） 2月
開業年月	1935年（昭和10年） 1月
代表取締役社長	植田 文一
資本金	1億円
発行済株式総数	15,303,369株（東証スタンダード上場）
従業員数（連結）	2,032名（2026年3月31日時点）
事業内容	宿泊施設の経営、食堂・宴会場の経営、スポーツ設備の運営、食料品の販売

|| 国賓をはじめ国内外のお客様をお迎えするホテルとして誕生

|| 2023年にはホテル運営に特化した企業として新たなスタートを切り、2035年には創立100周年を迎えます

1932～ 大阪に近代的ホテルを

- 1932 株式会社新大阪ホテル創立
- 1935 新大阪ホテル開業
- 1959 都市センターホテル開業
- 1965 リーガロイヤルホテル（大阪）開業（旧大阪ロイヤルホテル）
- 1967 株式会社ロイヤルホテルに改称
- 1969 リーガロイヤルホテル京都（旧京都グランドホテル）開業
- 1970 日本万博博覧会（日本万国博覧会）（大阪開催）「迎賓館」
および水上レストラン運営受託
- 1973 リーガロイヤルホテル（大阪）新館開業
- 1981 リーガプレイス肥後橋（旧中之島イン）開業

1990～ No.1ホテルグループに向かって

- 1990 グループ名をリーガロイヤルホテルグループに改称
国際花と緑の博覧会（大阪開催）「迎賓館」運営受託
- リーガロイヤルホテル新居浜開業
- 1992 リーガホテルゼスト高松営業開始
- 1993 リーガロイヤルホテル小倉開業
- 1994 リーガロイヤルホテル広島開業
- リーガロイヤルホテル東京（旧リーガロイヤルホテル早稲田）開業
- 1995 アジア太平洋経済協力（APEC）大阪会議

2000～ 磨かれる「おもてなし」の心

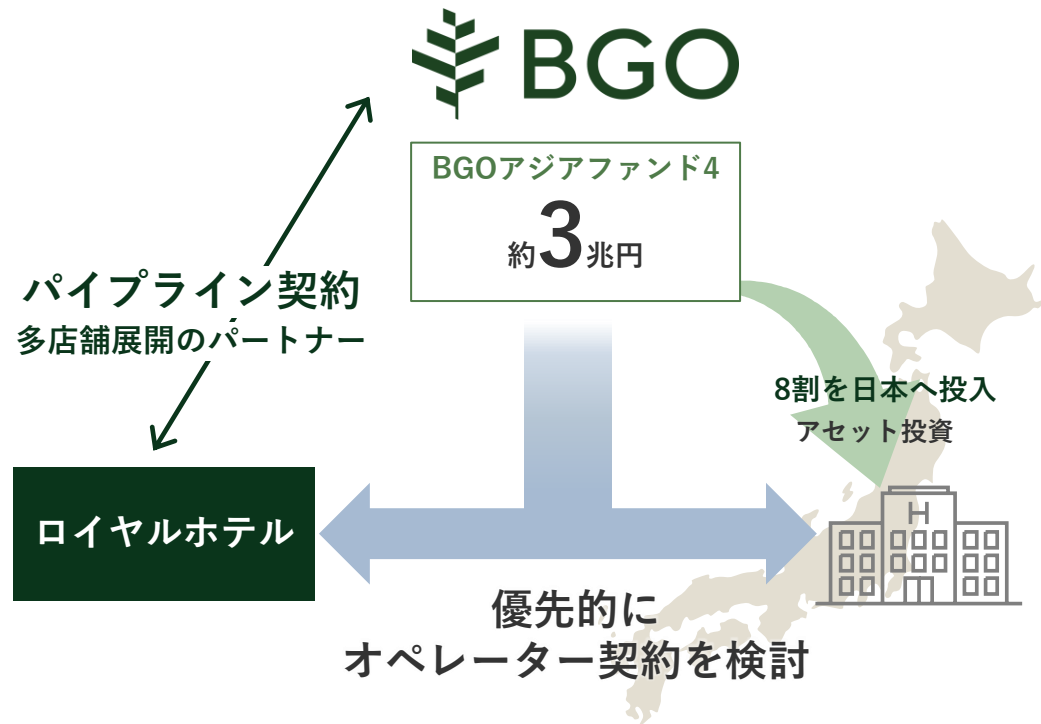
- 2008 G8 財務大臣会合
- 2012 リーガロイヤルグラン沖縄開業
- SIBOS SWIFT International Banking Operations Seminar
- 2016 G7 北九州エネルギー大臣会合
- 2019 G20 大阪サミット
- 2020 リーガグラン京都開業
- 2022 リーガロイヤル・ラグーナ・グアム・リゾート開業
- 2023 G7 広島サミット/G7 大阪・堺貿易大臣会合
- リーガプレイス京都四条烏丸開業
- 「ベントール・グリーンオーク」との資本業務提携締結

2024～ 新たなステージへ

- 2024 芝パークホテルとの資本業務提携
- 芝パークホテル・パークホテル東京がグループに加わる
- 2025 リーガロイヤルホテル大阪ヴィニェットコレクション開業（改装）
- 日本国際博覧会（大阪開催）「迎賓館」運営受託
- 2026 リーガロイヤルリゾート沖縄 北谷 開業
- アンカード・バイ・リーガ 大阪なんば 開業
- バウンシー・バイ・リーガ 福岡博多 開業予定
- 2028 ノワ・バイ・リーガ 神戸有馬 開業予定
- リーガグラン広島 開業予定
- 沖縄・今帰仁 開業予定
- 2029 リーガグラン千歳 開業予定

パイプライン拡大によるインオーガニック成長

- || BGO社がアジア特化の「BGOアジアファンド4」を設立。3兆円を超える投資が可能に
そのうち80%の資金を日本に投入予定
- || パイプライン契約をしている当社へのオペレーター契約の可能性が拡大。多店舗展開の加速を期待



▶ 運営委託契約 第1弾



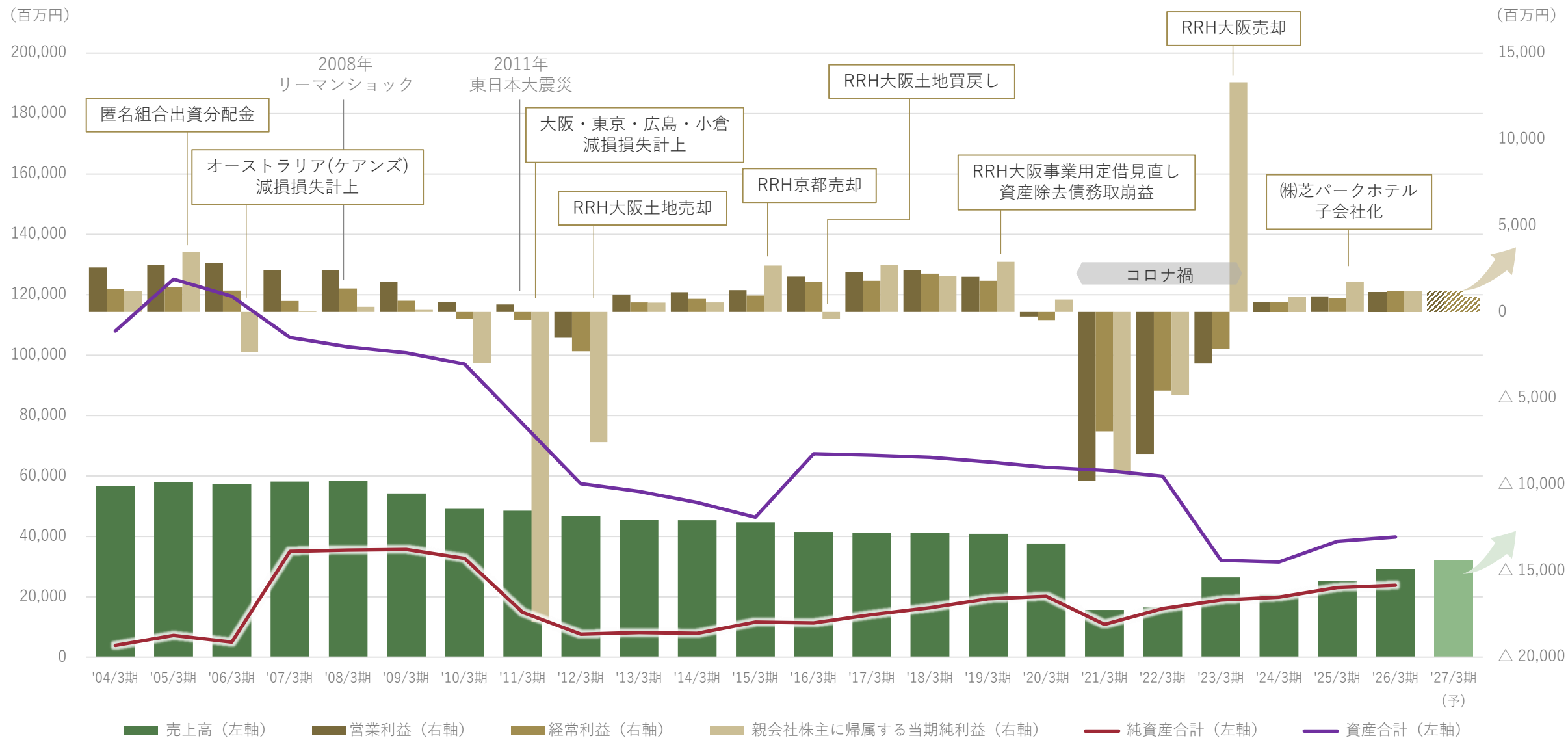
* IHGのラグジュアリーカテゴリの中のコレクションブランド

BGO

- カナダ大手生命保険会社グループSun Life Financial 傘下の、不動産プライベート・エクイティファンド運営会社
- 2023年6月末現在、世界28拠点、運用総資産約830億米ドル（約12兆円）
- 日本国内の不動産関連投資実績8,000億円程度。

IHG

- インターコンチネンタルホテルズグループ
- イギリスに本部を置き、19ホテルブランドで世界100か国以上、6,000軒以上のホテルを展開する世界的なホテルグループ





※2017/9/26以前、株価・出来高調整済

単位：百万円

	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期
売上高	41,076	40,884	37,601	15,638	16,465	26,397	20,668	25,164	29,273
客室	10,225	10,255	9,492	3,856	4,264	8,410	7,153	10,294	13,156
宴会	14,057	14,039	12,507	3,131	4,285	8,082	4,689	5,468	5,534
食堂	8,587	8,942	8,398	3,773	3,543	5,196	2,901	3,518	4,010
その他	8,206	7,646	7,202	4,876	4,371	4,709	5,924	5,882	6,571
売上総利益	30,792	30,532	28,188	11,633	12,470	20,675	17,059	21,076	24,953
販売費及び一般管理費	28,349	28,485	28,445	21,427	20,688	23,661	16,501	20,163	23,791
営業利益	2,442	2,047	△257	△9,794	△8,217	△2,986	557	912	1,162
経常利益	2,220	1,816	△465	△6,916	△4,550	△2,129	587	796	1,189
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,079	2,908	727	△9,334	△4,811	13,315	901	1,737	1,169
1株当たり当期純利益（円）	203.02	283.97	71.02	△911.34	△469.73	1,252.77	55.30	109.25	69.95
配当金（円）	—	—	—	—	—	—	5	5	6
自己資本当期純利益率（％）	13.7	16.3	3.7	△60.2	△35.7	76.0	4.6	8.4	5.2
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,379	3,790	1,087	△3,979	△4,100	81	△1,624	1,204	2,012
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,765	160	△1,590	△1,319	△1,128	53,419	△478	△1,981	△2,230
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,316	△2,096	△1,515	7,482	4,033	△42,698	△36	△260	△588
現金及び現金同等物の期末残高	2,735	4,589	2,570	4,754	3,559	14,361	12,221	11,184	10,377
従業員数（名）	2,038	2,049	2,036	2,059	1,832	1,678	1,726	1,985	2,032

単位：百万円

	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期
流動資産	7,173	8,397	4,919	7,260	5,922	17,305	16,464	15,339	16,191
現金及び預金	2,737	4,591	2,572	4,756	3,561	14,363	12,337	11,359	12,010
固定資産	59,034	56,300	57,971	54,607	53,998	14,799	15,103	23,022	23,149
有形固定資産	44,665	42,869	42,991	42,159	41,452	812	965	8,248	8,525
無形固定資産	179	281	201	191	303	266	207	192	165
投資その他の資産	14,189	13,149	14,778	12,256	12,241	13,720	13,929	14,581	14,458
資産合計	66,207	64,698	62,890	61,867	59,920	32,105	31,568	38,361	39,340
流動負債	7,859	7,417	6,379	40,098	8,711	5,387	4,257	4,428	5,146
短期借入金	1,615	1,567	2,010	35,058	5,400	—	—	89	81
固定負債	41,989	37,938	36,326	10,872	35,120	7,774	7,433	10,897	10,342
長期借入金	30,235	28,668	27,158	2,000	26,400	—	—	353	271
リース負債	458	262	271	139	87	38	38	191	131
負債合計	49,848	45,355	42,705	50,970	43,832	13,162	11,690	15,325	15,489
株主資本	16,660	19,568	20,295	10,961	16,149	18,972	19,873	21,477	23,832
その他包括利益累計額	△337	△300	△163	△64	△61	△29	3	△2	18
純資産合計	16,358	19,343	20,184	10,896	16,088	18,942	19,877	23,035	23,851
負債純資産合計	66,207	64,698	62,890	61,867	59,920	32,105	31,568	38,361	39,340
1株当たり純資産（円）	129.10	416.71	501.13	△400.67	△870.09	829.40	890.58	995.22	1,150.85
自己資本比率（％）	24.7	29.8	32.0	17.6	26.8	59.0	63.0	56.0	60.6

お問い合わせ先

株式会社ロイヤルホテル

経営企画部

email : rh.ir@rihga.co.jp

本資料で記述されている業績予想並びに将来予測は、現在における入手可能な情報に基づき当社が判断した内容であり、潜在的リスクおよび不確実性が含まれます。このため、様々な要因の変化によって、実際の業績等は記述されている内容と大きく異なる可能性がありますのでご了承ください。



RIHGA ROYAL HOTELS

2026年3月期 決算説明会

2026年5月29日

株式会社ロイヤルホテル

証券コード | 9713